

製品名: V-ATPase D1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19736**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	ATP6V0D1 ATP6V0D1; ATP6D; VPATPD; V-type proton ATPase subunit d 1; V-ATPase subunit d 1; 32
別名	kDa accessory protein; V-ATPase 40 kDa accessory protein; V-ATPase AC39 subunit; p39; Vacuolar proton pump subunit d 1
遺伝子 ID	9114.0
SwissProt ID	P61421
免疫原	抗血清はヒト V-ATPase D1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 221-270

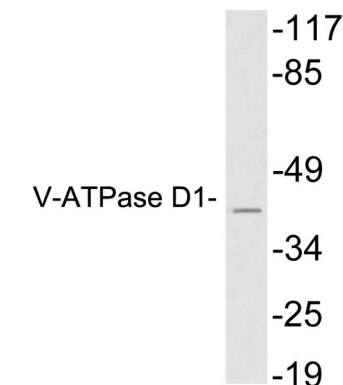
背景

この遺伝子は、真核生物の細胞内小器官の酸性化を媒介するマルチサブユニット酵素である液胞 ATPase (V-ATPase) の成分をコードしています。V-ATPase 依存性の細胞内小器官の酸性化は、タンパク質の選別、チモーゲンの活性化、受容体を介したエンドサイトーシス、シナプス小胞のプロトン勾配の生成などの細胞内プロセスに必要です。V-ATPase は、細胞質 V1 ドメインと膜貫通 V0 ドメインで構成されています。V1 ドメインは、3つの A サブユニット、3つの B サブユニット、2つの G サブユニット、および C、D、E、F、H サブユニットで構成されています。V1 ドメインには ATP 触媒部位が含まれています。V0 ドメインは、a、c、c'、c''、d の5つの異なるサブユニットで構成されています。多くの V1 および V0 サブユニットタンパク質の追加アイソフォームは、複数の遺伝子または選択的スプライシングを受けた転写バリエーションによってコードされています。このコードタンパク質は D サブユニットとして知られ、遍在的に存在します。[前機能: 液胞 ATPase の膜貫通型 V0 複合体のサブユニット。液胞 ATPase は真核細胞内の様々な細胞内コンパートメントを酸性化し、液胞系における輸送プロセスに必要なエネルギーの大部分を供給します。プロトン輸送と ATP 加水分解の連携において役割を果たす可能性があります。類似性: V-ATPase V0D/AC39 サブユニットファミリーに属します。サブユニット: V-ATPase は、膜貫通型 V0 プロトンポア複合体 (構成要素: a、c、c'、c''、d) に結合した末梢触媒 V1 複合体 (構成要素 A~H) からなるヘテロ多量体酵素です。組織特異性: 遍在的。]

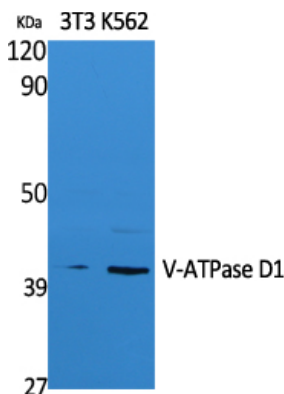
研究分野

酸化リン酸化、リソソーム、コレラ菌感染、ヘリコバクターピロリ感染における上皮細胞シグナル伝達

画像データ



V-ATPase D1 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



V-ATPase D1 ポリクローナル抗体を用いた NIH-3T3、K562 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。